

1 県立夜間中学の設置・支援内容等

- 「定時制・通信制アップデートプラン」（2023年1月策定・公表）において、夜間中学は、豊橋工科高校（東三河）に設置（2025年4月開校）することとした。
加えて、外国人が多い名古屋市、尾張地区、西三河地区への設置を検討することとした。
- 外国にルーツのある生徒や不登校経験の生徒が多く在籍する尾張地区、西三河地区の地元市教育委員会、学校関係者と意見交換を行った。
その結果、西三河地区で1校（豊田西高校）、尾張地区で2校（小牧高校・一宮高校）の夜間定時制高校への設置（2026年4月開校）を進める。
 - ・第一次設置校：東三河地区 豊橋工科高校（2025年4月開校（公表済））
 - ・第二次設置校：西三河地区 豊田西高校、 尾張地区 小牧高校・一宮高校（2026年4月開校）

（1） 夜間中学の設置（太枠：今回追加）

地 区	設置場所	地域、中学校などの状況	夜間定時制高校の状況	開校時期
東三河	豊橋工科高校 夜間定時制 (豊橋市)	○豊橋市は、外国人が、名古屋市に次いで、県内で2番目に多く居住している。 ○日本語の習得が十分でないため、夜間中学で学びたいという外国人のニーズがある。	○週1回程度、日本語学習の時間を設定。 ○在籍生徒数 121人のうち、 日本語指導が必要な生徒 1割程度 中学3年時に30日以上欠席した生徒 3割程度	2025年 4月 (公表済み)
西三河	豊田西高校 夜間定時制 (豊田市)	○豊田市は、外国人が、名古屋市、豊橋市に次いで、県内で3番目に多く居住している。 ○日本語の習得が十分でないため、夜間中学で学びたいという外国人のニーズがある。 ○豊田市は、不登校児童生徒が多く在籍している。 ○長期欠席により学習が十分でないため、夜間中学など多様な学びの場を求める生徒のニーズがある。	○週2回程度、日本語学習の時間を設定。 ○在籍生徒数 87人のうち、 日本語指導が必要な生徒 2割程度 中学3年時に30日以上欠席した生徒 3割程度	
尾 張	小牧高校 夜間定時制 (小牧市)	○小牧市は、外国人が、県内で6番目、尾張地区で最も多く居住している。 ○日本語の習得が十分でないため、夜間中学で学びたいという外国人のニーズがある。 ○経済的に厳しい外国人家庭の生徒は、公立高校への進学を希望するが、日本語習得が十分でなく、基礎学力がついていないケースが多い。	○週4回程度、日本語学習の時間を設定。 来年度から学校設定教科「日本語」を開設。 ○在籍生徒数 121人のうち、 日本語指導が必要な生徒 3割程度 中学3年時に30日以上欠席した生徒 4割程度	2026年 4月
	一宮高校 夜間定時制 (一宮市)	○一宮市は、不登校児童生徒が多く在籍している。 ○不登校生徒の中には、夕方登校し、学習支援を受けている生徒がいる。 ○不登校生徒の新たな学びの場の確保が求められている。 ○夜間中学で学びたいという生徒のニーズがある。	○週1回程度、日本語学習の時間を設定。 ○基礎・基本を重視した少人数での指導を実施。 ○在籍生徒数 119人のうち、 日本語指導が必要な生徒 3割程度 中学3年時に30日以上欠席した生徒 4割程度	

（外国人居住者が多い市（2022年6月現在））

・名古屋市 86,043人	・小牧市 10,549人
・豊橋市 19,716人	・春日井市 8,291人
・豊田市 18,935人	・安城市 7,910人
・岡崎市 12,909人	・一宮市 7,418人
・西尾市 10,680人	・豊川市 7,403人

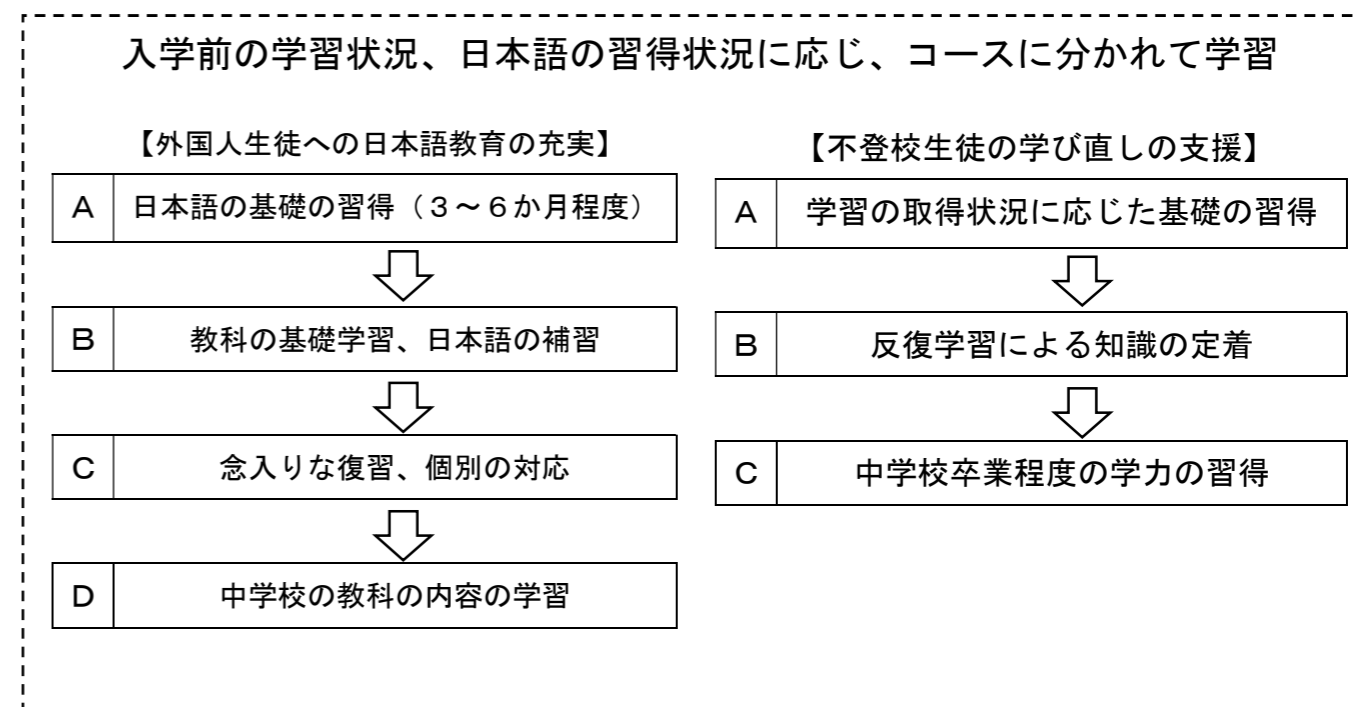
（不登校児童生徒数）

文部科学省「令和3年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」により、市町村別の児童生徒数は非公表

(2) 夜間中学の対象となる生徒、教員数、支援内容等

項目	内容
① 対象となる生徒	<ul style="list-style-type: none"> ○ 義務教育を修了しないまま学齢期を経過した方 ○ 不登校など様々な事情により十分な教育を受けられないまま中学を卒業した方 ○ 本国や我が国で義務教育を修了していない外国籍の方 <p>※不登校の生徒が中学校に籍をおきながら夜間中学へ通うことも可能</p>
② 生徒数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年1学級10人程度、全体で10～30人程度（定員なし） ○ 日本国籍の生徒が2割、外国籍の生徒が8割 ○ 日本国籍の生徒の半数は60歳以上 ○ 外国籍の生徒はほとんど15才～39才 <p>※国籍、年齢層については、文部科学省「令和元年度夜間中学に関する実態調査」から推計</p>
③ 教員数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 専任の管理職1人、教諭10～15人程度、養護教諭1人、通訳など、合計15人程度
④ 支援内容	<p>外国人生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本語専門教師による日本語の習得に向けた系統的な学習を実施 ○ 母語指導教師による学習や生活支援を実施 ○ 外国にルーツをもつ生徒が日本語を含む学力を身に付ける <p>➡ 就職を希望する生徒が多いことから、高校で日本語を含めた学力を身に付けることができるよう、夜間定時制高校への進学を支援</p>
	<p>不登校生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学齢期を経過した生徒が中学校卒業程度の学力を身に付ける ○ 基礎からの学び直しにより、確かな学力を身に付け、社会的自立ができるよう、夜間定時制高校への進学や就職を支援 ○ 学齢期の不登校生徒が、在籍校に籍を置きながら夜間中学において授業を受けられる学びの場を提供
⑤ 学校施設	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教室（ホームルームや特別教室）、図書室、保健室、運動場、体育館は、高校施設を共用 ○ 職員室は、既存の部屋を改修 ○ 豊田西高校は、主に中高一貫の中学校施設を共用
⑥ 「若者・外国人未来塾」との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「若者・外国人未来塾」を運営するNPO、外部の専門機関の日本語指導者・学習支援員が、夜間中学を訪問し、生徒の日本語習得と学び直しを支援

《夜間中学の教育課程のイメージ》



「若者・外国人未来塾」との連携

夜間中学の生徒、定時制の生徒の日本語習得と学び直しを支援

